

本府並分署

第 412 號

起	接	昭	昭	昭	決	昭	昭	送
案	受	和	和	和	裁	和	和	發
年	年	年	年	年	和	和	和	日
二	二	二	二	二	年	年	年	
月	月	月	月	月	十	十	十	
日	日	日	日	日	日	日	日	
					日	日	日	

藏書課長 印

文 官 印

印

印

印

前記  
 本府並分署  
 中岡正太郎  
 印

石 務 省



打 者 雀

記  
公署事務所控筆 菅藤正道

林平二六一部隊附ヲ命ス  
昭和十七年二月四日

陸 軍 省

第 一 二

内閣府事務局長 菅

友

河野陸軍省ニ於テ左記ノ重死令ヲ以テ第 四 號  
告ル也  
是ヲ重中助治三ノ年即令ヲ日十三號ニ海ノ事

(起案用紙三號ノ三ノ富井橋)

(日本標準規格B5)

陸軍省  
陸軍省  
陸軍省

陸軍省  
陸軍省  
陸軍省

陸軍省  
陸軍省  
陸軍省

陸軍省  
陸軍省  
陸軍省

大日本帝國政府



(折上り確定規格 51-X-233-5 紙)

REEL No. A-1220



アジア歴史資料センター

陸軍

陸機密人第二九五號

陸軍

文官従軍發令ノ件通牒

昭和十七年二月四日

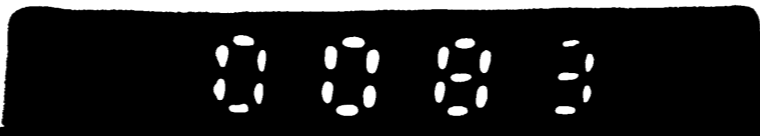
陸軍次官 木村兵太郎

拓務次官 植場 鐵 三 殿



一月三十一日官秘第四二〇號ニ依リ首題ノ件別紙ノ通發令セラレタルニ付通牒ス

REEL No. A-1220



アジア歴史資料センター

川十口  
 苦漫長何  
 西十九年川西  
 以何給海  
 副總若く野川与田請

同	同	林第一六一部隊附	戰時職務	現職	拓務省殖産局鐵務課	官等俸給	氏名
同	同	勤務					
同	同	臺總殖産局鐵務課勤務					
		臺總投手					
		五級					
		菅藤正道					
		園田新					
		川田博通					
		七等九官級					
		拓務課					
		三級					
		拓務課					

(別紙)

二月四日發令  
 拓務省殖産局長 菅藤正道

昭和十七年二月四日發令



奉命並台簿

接 起	受 案	昭 和	年	月	日	決 裁	昭 和	年	月	日	施 行	昭 和	年	月	日	完 結	昭 和	年	月	日

秘書長

次官

局長

課長

陸軍次官

陸軍省

一月三十日附陸軍省人方二回...

打者 雀

此ハ中江宛ノ通牒書及回答書也  
其ノ通牒書ハ左ノ上ノ其日ハ在野会事項守り通  
牒の通牒

招寄者社長為依り書物

招寄者社長(子守也)社長 川田博通

同

招寄者(三回) 園田 新

招寄者社長為依り書物

招寄者社長(子守也) 菅藤正道

五ノ二

(起案用紙三號ノ三ノ富非納)

(日本標準規格H6)

官公人事務長 衆議院  
御座り

江原の経理の急務に付  
河船陸軍省より大船に載せし経理の台座の要請が旅  
達より陸軍省申越すに付その旨府部内より該業に用ゐられ  
于一名中望 臣ノ上其の致意に名 津佐 現 如 爲 坦 年ノ  
多色即回報の御座りぬ如し也

大日本帝國政府



(折上り) 陸軍省格付 田二ノ二二二二二 (箱)



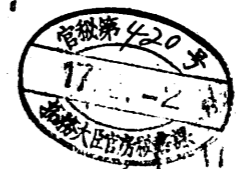
大日本帝國政府

臺總出第二〇號

昭和十七年二月二日

臺灣總督官房人事課長 西村 德

拓務大臣官房秘書課長 增 本 甲 吉 殿



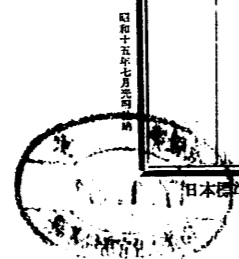
文官ヲ從軍ノ爲派遣ノ件  
一月三十一日附官秘第四二〇號ヲ以テ御照會相成候首題ノ件了承  
左記ノ者ヲ派遣セシムヘク候條可然御取計相成度此段及回答候也

記  
殖産局續務課勤務(坑助務地臺北)  
臺灣總督府技手(四級俸) 菅 藤 正 道



注 意 (一)本書ハ墨書ノコト (二)氏名ハ戸籍謄本ノ通リトスルコト (三)氏名ノ右側空欄ニハ華士族ノミ記入ノコト (四)履歷事項ハ年代順ニ記入ノコト (五)兵事關係ハ軍隊手續通リ記入ノコト (六)官制、官名、俸給令分課規程改正等ハ朱書ノコト

位勳爵	博士	舊氏名	改氏名年月理由	原籍	年號	月日	經	歴	官 衙 其 他	振假名	氏名	生 日 年
										カニ	トウ	マサ
				福島縣信夫郡笹谷村字窪谷地五六番地							菅藤正道	大正三年七月十四日
				昭和三三、三三 福島女子師範学校附属小学校卒業								
				昭和三三、三三 福島縣立福島中学校卒業								
				昭和三三、三三 東京開成中学校ニ転校								
				昭和三三、三三 本校ヲ卒業								
				昭和三三、三三 補和高等学校理科ニ入学								
				昭和一一、一一 本校ヲ卒業								
				昭和一一、一一 東京帝國大学理学部地質科ニ入学								
				昭和一一、一一 本校全科ヲ卒業								
				昭和一一、一一 徴兵検査結果陸軍第一補充兵役野砲五編入								
				昭和一一、一一 任臺灣總督府技手								
				昭和一一、一一 給五級俸								
				昭和一一、一一 殖産局勤務ヲ仰ス								
				昭和一一、一一 銘務課勤務ヲ仰ス								
				昭和一一、一一 給由級俸								
				昭和一一、一一 臺灣總督府								



日本標準規格 B4 (257 x 346)

三三三

陸軍 陸軍次官 植場 鐵三 殿

又官ヲ從軍ノ爲派遣セラレ度キ件照會

昭和十七年一月三十日 陸軍次官 木村 兵太郎

拓務次官 植場 鐵三 殿

大東亞戰爭ニ從軍セシムル爲左記要員ヲ派遣セラレ度異存ナクハ派遣者ノ職、官、氏名俸給現勤務地等併セ通報セラレ度照會ス

左記

鐵業業務 高等文官一名

植場 鐵三 (三)

判任文官二名

植場 鐵三 (三)  
植場 鐵三 (三)



派遣者全員ヲ二月二日午前十時發  
本部ニ事務打合せノ爲出頭セシメ  
レ度

REEL No. A-1220

軍事機密

陸軍機密人第二四〇號

陸

軍

文官ヲ從軍ノ爲派遣セラレ度キ件照會

昭和十七年一月三十日 陸軍次官 木村 兵太郎

拓務次官 植場 鐵三 殿

大東亞戰爭ニ從軍セシムル爲左記要員ヲ派遣セラレ度異存ナクハ派遣者ノ職、官、氏名俸給現勤務地等併セ通報セラレ度照會ス

左記

續營業務 高等文官一名

判任文官二名

田中實 (死) 田中實 (死) 七年九月

周田新 (三股) 田中實 (死) 七年九月



派遣者全員ヲ二月二日午前十時參謀本部ニ事務打合せノ爲出頭セシメラレ度

菅原松平ニ  
付テ  
昭和十七年一月廿四日  
陸軍省  
事務

第 四 二 〇 號  
決 裁  
昭 和 年 月 日  
書 淨  
合 校  
送 發  
昭 和 年 月 日

接 受  
昭 和 年 月 日  
施 行  
昭 和 年 月 日  
完 結  
昭 和 年 月 日

決 了

系

陸軍省  
事務

長

陸軍省  
事務  
昭和十七年一月廿四日  
陸軍省  
事務

石 務 省



打者  
二階上 櫻江ノ中 高島 政業ノ分 切紙ノ通 出 差  
附 考 考 出 差 収 収 収 収

櫻江ノ中 高島 政業ノ分

212

(建築用紙三號ノ三) (富井納)



REEL No. A-1220



アジア歴史資料センター

三急

軍事機密

陸機密人第二八二號

從軍文官宣誓ニ關スル件照會

昭和十七年二月三日

陸軍次官 水村 英 大 將

拓務次官 植場 鐵 三 殿

軍屬トシテ大東亞戰爭ニ從軍セシムル文官ニ對シ宣誓ノ件可然取計  
ラハレ度通牒ス

追テ高等文官判任文官連名ニテ記名捺印（多數ナルトキハ二葉ニ  
亘ルモ可ナリ）ノ上返戻セラレ度申添フ



陸軍

今般陸軍ニ奉職仕候ニ付テハ帝國官吏一般ノ服務ニ關スル法令ヲ遵守スルハ勿論堅ク左ノ條令ヲ守リ決シテ違背仕間敷候也

一誠心ヲ本トシ忠順職務ニ勉勵スヘキコト

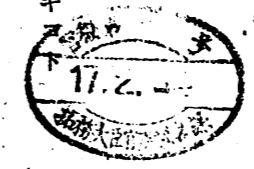
一長上ニ敬禮ヲ盡シ同僚ニ信義ヲ致シ下僚ニ對シテ懇切ヲ旨トスヘキコト

一長上ノ命令ハ其ノ事ノ如何ヲ問ハス服従スヘキコト

一道德ヲ脩メ質素ヲ主トスヘキコト

一名譽ヲ尚ヒ廉恥ヲ重ンスヘキコト

一巨ノ機密若ハ秘密ヲ嚴守シ未發ノ文書ヲ他人ニ漏示スヘカラサルコト



昭和十七年二月四日

拓務事務官

拓務属

川田博通

園田

新





控

今般陸軍ニ奉職仕候ニ付テハ帝國官吏一般ノ服務ニ願スル法令ヲ遵守スルハ勿論堅ク左ノ條令ヲ守リ決シテ違背仕間敷候也

一誠心ヲ奉トシ忠順職務ニ勉勵スヘキコト

一長上ニ敬禮ヲ盡シ同僚ニ信義ヲ致シ下僚ニ對シテ懇切ヲ旨トスヘキコト

一長上ノ命令ハ其ノ事ノ如何ヲ問ハス服従スヘキコト

一道德ヲ脩メ質素ヲ主トスヘキコト

一名譽ヲ尚ヒ廉恥ヲ重ンスヘキコト

一自ノ機密若ハ秘密ヲ嚴守シ未發ノ文ヲ他人ニ漏示スヘカラサルコト

昭和十七年三月四日

秘書事務官

秘書官

川田博

新通

④ ④

川田事務長  
田中事務長

出発日程変更ノ件

二月十二日午前十時半 東京発

二月十三日午前九時近ニ陸軍運輸部(司出張所)

同 日 午後 門司出帆 (天城丸)

二月十六日 基隆 入港

二月十七日 高雄 着 (汽車)

某 日 高雄ヨリ某司令部迄 (船)

甚高ヨリ参加官藤枝平ノ辭ハ十七日ヨリ根ニ  
合流スルコト

仕度金、服装等ニ付ニハ、海軍司令部入  
照會日ノコト

以上ハ陸軍省ヨリ海軍省ニ打電  
セル趣ナリ

コクカ

逕達

交通發第八七號

書類送付ノ件

昭和十七年二月四日

陸軍省整備局交通

拓務省文書課 御中



前開ノ件別冊ノ通三部送付スルニ付貴省差出ノ總軍及ヒ軍軍政要員  
タル高等官（判任官）各人ニ一冊ツツテ至急交付方取計相成慶

本件別冊一冊送付ノ事ハ先般御座リ  
御座リ  
二月四日  
陸軍省整備局交通



極秘

第三次要員輸送計畫

陸軍省 昭一七三一

一、要旨

集團的輸送ヲ以テ陸軍輸送船ヲ利用シ概ネ二月末日迄ニ在〇〇  
部隊本部ニ到着セシム

二、輸送計畫

(1) 二月十二日 午前〇〇〇〇 東京驛發(第一〇三列車) 急行列車  
 二月十二日 午後八二〇〇 大阪驛發(第一〇三列車) 大阪驛ニテ乗換  
 二月十三日 午前九三〇〇 大阪驛發(第一〇三列車) 二等車一兩増結ス  
 二月十三日 午前七四二〇 下關驛發(第一〇三列車)  
 二月十三日 午後 門司出帆  
 二月十六日 正午頃 基隆發  
 (陸軍輸送客貨船約三〇〇名)

三、出發準備

(1) 公務選賃割引證ハ陸軍省各擔當課ニ於テ關係要員ニ交付シ乗車券

及急行券等ハ各人購入スルモノトス

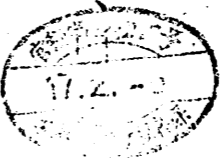
(2) 船舶便乗手續ハ陸軍省交通課擔任ス

四、行動報告

(1) 要員先任者ハ概ネ次ノ通暗號電報スルモノトス

時 機	通 電 先	内 容	方 法
宇品出帆前	陸軍省整備局長	門司出帆ノ狀況	陸軍運輸部門出張所依頼
船 中	陸軍運輸部基隆出張所長及臺灣軍參謀長	基隆到着豫定日時	船長ニ依頼
高雄到着後	陸軍省整備局長	高雄出帆豫定	高雄運輸部出張所ニ依頼
〇〇到着後	陸軍省整備局長	〇〇到着ノ狀況	部隊本部ニ依頼

(2) 防諜上、輸送間ハ專故等ノ爲最寄陸軍部隊又ハ船長ニ依頼シテ電報スル場合ヲ除キ一切ノ私用電報及郵便ノ發信ヲ爲ササルモノトス



参考事項

- (1) 輸送間ノ汽車賃、宿泊料及船内食料等ハ各人支辨トス
- (2) 手荷物ハ一週旅行ノ場合ニ準シ各人毎ニ處理スルモノトス
- (3) 東京一鹿島間ノ集積列車輸送ニ依リ得サル事情アル者ニ付テハ別ニ示ス

(註)

ノ本計畫ハ「要員派遣準備要領」ニ基ク輸送計畫トシ要員ハ高等官ニ  
十八名及現任官三十二名合計八十名ノ輸送準備ヲ示ス

2 配布區分次ノ如シ

- (1) 官房、補任、軍事、軍務、醫備、銃砲、主計、監査、衣類、  
兵總、第九、第十、第十一、第十四、第十五、軍秘書官
- (2) 要員全員
- (3) 陸軍省各部、同門司出張所、同基隆出張所、同高雄出張所

臺灣軍司令部、□ 陸軍本部、在○ 陸軍省、南支監部  
△ 陸軍本部

官秘第三二七四號  
 昭和十七年九月廿五日  
 昭和十七年九月廿五日  
 昭和十七年九月廿五日  
 昭和十七年九月廿五日  
 昭和十七年九月廿五日

職事課

案

課長

臺灣總督官房人事課長 宛

異動事項通報ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ左記ノ通林軍政監部ヨリ通報越タルニ付

及通知候

記

抄 考 卷

第十五軍々政監部所属 臺灣總督府技手管藤 正道

昭和十七年二月二十二日 高雄發

三月一日 西貢上陸

三月十日 西貢發

三月十五日 昭南上陸

三月十九日 蘭貢上陸現在ニ至ル

(宛案用紙三號ノ三) (富井納)

(日本標準規格 B 5)

大日本帝國政府 寫

林政第三號									
昭和十七年八月二十一日									
林軍政監部									
拓務大臣官房人事課長 殿									
異動事項通報ニ關スル件									
當部配屬貴有職員ニ對スル首題ノ件別紙ノ通リニ付通									
報ス									

(國定規格B5×35mm)

大日本帝國政府 寫

名簿記載資料(拓務省)									
異動事項									
昭和十七年二月二十五日高雄發三月									
一日西貢上陸三月十日西貢發三月									
十五日昭南上陸三月二十九日蘭									
貢上陸現在ニ至ル									
政務省									
官									
管藤正道									

(國定規格B5×35mm)



次

續

林政人第三部

昭和十七年八月五日

林軍政監部

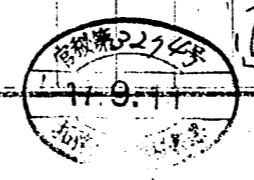
秘書長

思勤事項通報ニ関スル件

高部配属貴省職員ニ對スル首題ノ件別紙ノ旨

ニ付通報ス

履歴記入済



東京・小澤精

陸軍

名簿記載資料 (拓務省)

異動事項

異動事項	所属部隊	官	氏名
昭和十七年二月五日閣議後、二月廿七日東條上陸、二月廿九日高橋發、三月一日西貢上陸、三月廿五日西貢發、三月廿九日南貢上陸、四月一日南貢發、四月五日南貢上陸、四月九日南貢發、四月十三日南貢上陸、四月十七日南貢發、四月廿一日南貢上陸、四月廿五日南貢發、四月廿九日南貢上陸、五月三日南貢發、五月七日南貢上陸、五月十一日南貢發、五月十五日南貢上陸、五月十九日南貢發、五月廿三日南貢上陸、五月廿七日南貢發、五月卅一日南貢上陸、六月四日南貢發、六月八日南貢上陸、六月十二日南貢發、六月十六日南貢上陸、六月廿日南貢發、六月廿四日南貢上陸、六月廿八日南貢發、七月二日南貢上陸、七月六日南貢發、七月十日南貢上陸、七月十四日南貢發、七月十八日南貢上陸、七月廿二日南貢發、七月廿六日南貢上陸、七月卅日南貢發、八月三日南貢上陸、八月七日南貢發、八月十一日南貢上陸、八月十五日南貢發、八月十九日南貢上陸、八月廿三日南貢發、八月廿七日南貢上陸、八月卅一日南貢發、九月四日南貢上陸、九月八日南貢發、九月十二日南貢上陸、九月十六日南貢發、九月廿日南貢上陸、九月廿四日南貢發、九月廿八日南貢上陸、十月二日南貢發、十月六日南貢上陸、十月十日南貢發、十月十四日南貢上陸、十月十八日南貢發、十月廿二日南貢上陸、十月廿六日南貢發、十月卅日南貢上陸、十一月三日南貢發、十一月七日南貢上陸、十一月十一日南貢發、十一月十五日南貢上陸、十一月十九日南貢發、十一月廿三日南貢上陸、十一月廿七日南貢發、十一月卅一日南貢上陸、十二月四日南貢發、十二月八日南貢上陸、十二月十二日南貢發、十二月十六日南貢上陸、十二月廿日南貢發、十二月廿四日南貢上陸、十二月廿八日南貢發、十二月卅一日南貢上陸、	第壹師改監部	拓務事務官	川田博通
昭和十七年二月廿九日南貢上陸、三月三日南貢發、三月七日南貢上陸、三月十一日南貢發、三月十五日南貢上陸、三月十九日南貢發、三月廿三日南貢上陸、三月廿七日南貢發、三月卅一日南貢上陸、四月四日南貢發、四月八日南貢上陸、四月十二日南貢發、四月十六日南貢上陸、四月廿日南貢發、四月廿四日南貢上陸、四月廿八日南貢發、五月二日南貢上陸、五月六日南貢發、五月十日南貢上陸、五月十四日南貢發、五月十八日南貢上陸、五月廿二日南貢發、五月廿六日南貢上陸、五月卅日南貢發、六月三日南貢上陸、六月七日南貢發、六月十一日南貢上陸、六月十五日南貢發、六月十九日南貢上陸、六月廿三日南貢發、六月廿七日南貢上陸、六月卅一日南貢發、七月四日南貢上陸、七月八日南貢發、七月十二日南貢上陸、七月十六日南貢發、七月廿日南貢上陸、七月廿四日南貢發、七月廿八日南貢上陸、八月一日南貢發、八月五日南貢上陸、八月九日南貢發、八月十三日南貢上陸、八月十七日南貢發、八月廿一日南貢上陸、八月廿五日南貢發、八月廿九日南貢上陸、九月二日南貢發、九月六日南貢上陸、九月十日南貢發、九月十四日南貢上陸、九月十八日南貢發、九月廿二日南貢上陸、九月廿六日南貢發、九月卅日南貢上陸、十月三日南貢發、十月七日南貢上陸、十月十一日南貢發、十月十五日南貢上陸、十月十九日南貢發、十月廿三日南貢上陸、十月廿七日南貢發、十月卅一日南貢上陸、十一月四日南貢發、十一月八日南貢上陸、十一月十二日南貢發、十一月十六日南貢上陸、十一月廿日南貢發、十一月廿四日南貢上陸、十一月廿八日南貢發、十二月一日南貢上陸、十二月五日南貢發、十二月九日南貢上陸、十二月十三日南貢發、十二月十七日南貢上陸、十二月廿一日南貢發、十二月廿五日南貢上陸、十二月廿九日南貢發、	同	寫字樓事務官	菅藤正道
昭和十七年三月廿九日南貢上陸、四月二日南貢發、四月六日南貢上陸、四月十日南貢發、四月十四日南貢上陸、四月十八日南貢發、四月廿二日南貢上陸、四月廿六日南貢發、四月卅日南貢上陸、五月四日南貢發、五月八日南貢上陸、五月十二日南貢發、五月十六日南貢上陸、五月廿日南貢發、五月廿四日南貢上陸、五月廿八日南貢發、六月一日南貢上陸、六月五日南貢發、六月九日南貢上陸、六月十三日南貢發、六月十七日南貢上陸、六月廿一日南貢發、六月廿五日南貢上陸、六月廿九日南貢發、七月二日南貢上陸、七月六日南貢發、七月十日南貢上陸、七月十四日南貢發、七月十八日南貢上陸、七月廿二日南貢發、七月廿六日南貢上陸、七月卅日南貢發、七月三日南貢上陸、七月七日南貢發、七月十一日南貢上陸、七月十五日南貢發、七月十九日南貢上陸、七月廿三日南貢發、七月廿七日南貢上陸、七月卅一日南貢發、八月四日南貢上陸、八月八日南貢發、八月十二日南貢上陸、八月十六日南貢發、八月廿日南貢上陸、八月廿四日南貢發、八月廿八日南貢上陸、八月廿九日南貢發、九月一日南貢上陸、九月五日南貢發、九月九日南貢上陸、九月十三日南貢發、九月十七日南貢上陸、九月廿一日南貢發、九月廿五日南貢上陸、九月廿九日南貢發、十月二日南貢上陸、十月六日南貢發、十月十日南貢上陸、十月十四日南貢發、十月十八日南貢上陸、十月廿二日南貢發、十月廿六日南貢上陸、十月卅日南貢發、十月三日南貢上陸、十月七日南貢發、十月十一日南貢上陸、十月十五日南貢發、十月十九日南貢上陸、十月廿三日南貢發、十月廿七日南貢上陸、十月卅一日南貢發、十一月四日南貢上陸、十一月八日南貢發、十一月十二日南貢上陸、十一月十六日南貢發、十一月廿日南貢上陸、十一月廿四日南貢發、十一月廿八日南貢上陸、十一月廿九日南貢發、十二月一日南貢上陸、十二月五日南貢發、十二月九日南貢上陸、十二月十三日南貢發、十二月十七日南貢上陸、十二月廿一日南貢發、十二月廿五日南貢上陸、十二月廿九日南貢發、	同	拓務局	園田新

陸軍

東京・小澤精

東京市

托務大臣官房

航空

公用

軍用



4

紙

林集團軍政部

REEL No. A-1220

0106

アジア歴史資料センター